

【広島市消費者物価指数】

1 平成 27 年 6 月の動向

- 広島市総合指数（103.9）は前月比で 4 か月ぶりの下落。前年同月比は 24 か月連続の上昇。
- 生鮮食品を除く総合指数（103.2）は前月比で同水準。前年同月比は 24 か月連続の上昇。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（100.8）は前月比で同水準。前年同月比は 21 か月連続の上昇。

2 総合指数，生鮮食品を除く総合指数，食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	103.9	▲0.2	1.0
生鮮食品を除く総合指数	103.2	0.0	0.5
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	100.8	0.0	0.5

3 前月からの動き

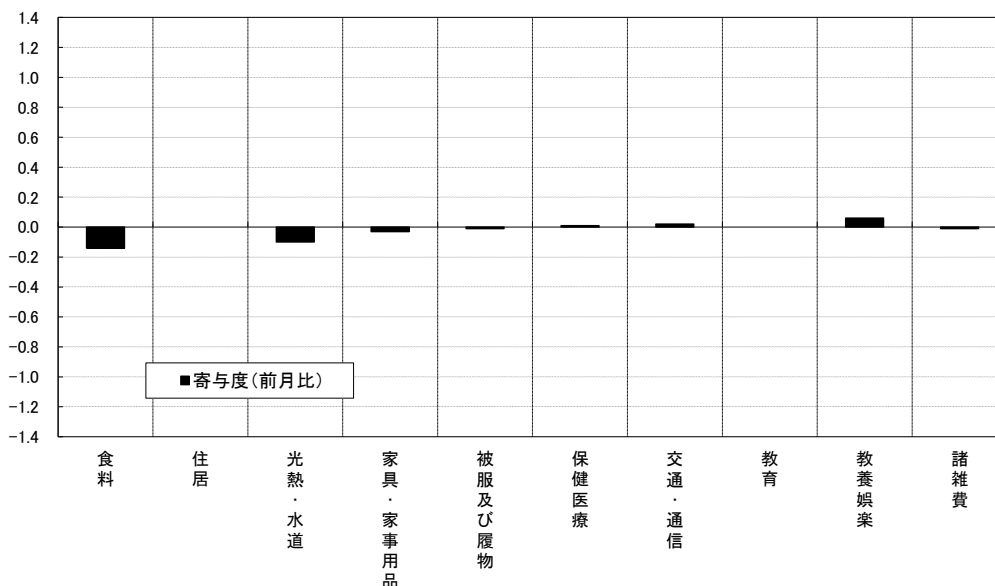
～教養娯楽は上昇，食料は下落～

(1) 10 大費目指数，前月比及び寄与度

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指数	103.9	109.2	99.4	112.1	96.9	105.3	101.3	102.9	99.5	97.1	109.5
前月比 (%)	▲0.2	▲0.5	0.0	▲1.3	▲0.7	▲0.2	0.2	0.1	0.0	0.6	▲0.2
寄与度	▲0.2	▲0.14	0.00	▲0.10	▲0.03	▲0.01	0.01	0.02	0.00	0.06	▲0.01

(参考) 主な要因となっている 10 大費目について，寄与の大きかった中分類項目
 教養娯楽：教養娯楽用耐久財（前月比 7.1%，寄与度 0.11）等
 食料：野菜・海藻（前月比 ▲3.9%，寄与度 ▲0.12）等

図 1 10 大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に，各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来，寄与度の合計は，総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが，四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数の前月比に寄与した主な内訳

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比(%)	項 目 (主な品目名)	前月比(%)
教養娯楽用耐久財 (テレビ 等)	7.1	野菜・海藻 (キャベツ 等)	▲3.9
自動車等関係費 (ガソリン 等)	0.5	電気代 (電気代)	▲1.7
家事用消耗品 (防虫剤 等)	1.3	果物	▲4.1
乳卵類 (ヨーグルト 等)	1.0	ガス代 (都市ガス代)	▲1.7
酒類 (ビール 等)	0.9	寝具類 (ベッド)	▲5.5

4 前年同月との比較

～食料は上昇、交通・通信及び光熱・水道は下落。～

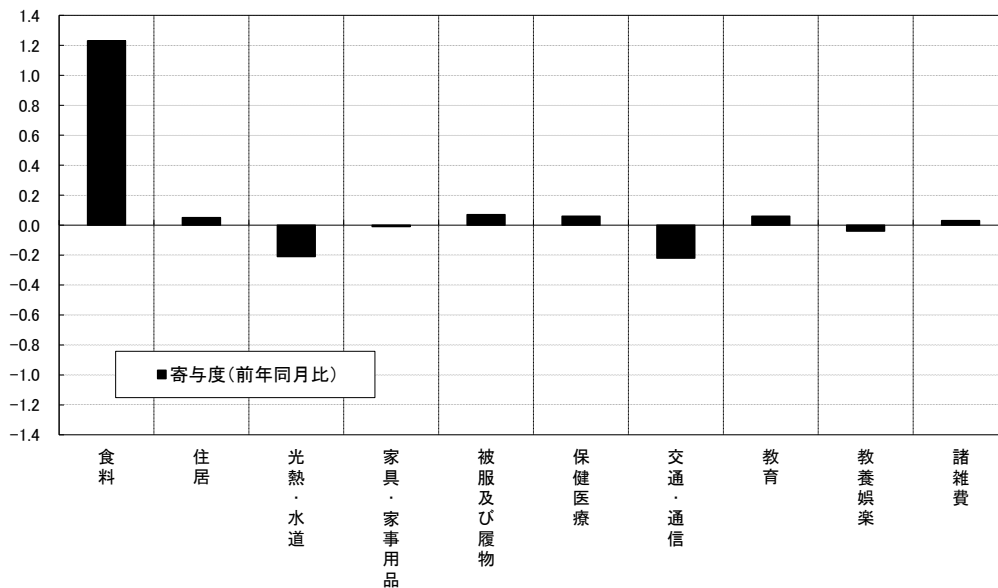
(1) 10大費目の前年同月比及び寄与度

	総 合	食 料	住 居	光熱・水道	家 具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教 育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	1.0	4.8	0.3	▲ 2.5	▲ 0.1	1.4	1.3	▲ 1.6	1.9	▲ 0.3	0.5
寄与度	1.0	1.23	0.05	▲ 0.21	▲ 0.01	0.07	0.06	▲ 0.22	0.06	▲ 0.04	0.03

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

- 食 料：野菜・海藻 (前年同月比 12.3%, 寄与度 0.33) 等
- 交通・通信：自動車等関係費 (前年同月比 ▲3.0%, 寄与度 ▲0.23) 等
- 光熱・水道：電 気 代 (前年同月比 ▲2.4%, 寄与度 ▲0.09) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数の前年同月比に寄与した主な内訳

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比 (%)	費 目 (主な品目名)	前年同月比 (%)
野菜・海藻 (トマト 等)	12.3	自動車等関係費 (ガソリン 等)	▲3.0
調理食品 (うなぎかば焼き 等)	10.7	教養娯楽用耐久財 (テレビ 等)	▲7.4
菓子類 (ケーキ 等)	8.8	穀類 (カレーパン 等)	▲4.4
魚介類 (ぶり 等)	5.5	電気代 (電気代)	▲2.4
果物 (バナナ 等)	9.7	ガス代 (都市ガス代 等)	▲3.0